

鳴門市長の泉理彦です。

徳島県は、7月21日に、直近の新型コロナウイルスの感染状況や、感染力が強いインド由来の「デルタ株」疑い事例が確認されたこと、全国的な感染再拡大の傾向を踏まえて、とくしまアラートの「感染拡大注意・漸増」を発動したところです。

既にデルタ株が猛威を振っている首都圏はもとより、大阪府をはじめ関西圏でも感染者が急増しており、7月下旬からは、国内感染者数が過去最多を記録し、1万人を超える日も出るなど、感染が急拡大しています。

感染者をみると、新型コロナワクチン接種が進む高齢者の感染者が減る一方で、30代までの若者層が感染する割合が高まっており、徳島県内の感染者も同様の傾向となって来ています。

夏休み期間中であることや、お盆も控え、人の移動が多くなるシーズンに入り、広域移動による地方への感染拡大が危惧されているところです。

先の「デルタ株」が徳島県内で初めて確定されたことも受け、県では、8月31日までを「第5波“警戒強化期間”」として、より一層の感染防止対策の徹底を図っているところであり、皆様には、感染拡大地域（緊急事態措置実施区域、まん延防止等重点措置区域）との往来を含め、都道府県をまたぐ不要不急の旅行や帰省等は原則、中止・延期していただきますとともに、

- ・3密（密閉・密集・密接）の場面はもとより、「2密・1密」についても避ける
- ・マスク着用、咳エチケット、うがい、手洗い、手指消毒、大声を出さない
- ・大人数での会食はしない

など、基本的な感染防止対策の徹底を引き続き、お願いいたします。

本市における新型コロナワクチン接種については、国の定める接種順位に沿って、医療従事者や高齢者の方、基礎疾患を有する方などへの接種を行うとともに、保育関係や幼稚園や小中学校の教職員の方、59歳から64歳までの方などの市独自の先行接種対象の方にも順次、接種のご案内をさせていただき、接種を進めています。8月1日現在の全人口に占める接種率は、1回目を受けられた方で42.2%、2回目接種を終えられた方で32.1%といずれも国の平均を上回って進捗している状況です。

8月中旬からは58歳以下の一般の方への接種が本格化します。市では、「安心、迅速、円滑なワクチン接種」をめざし、円滑な接種に向けた取り組み行っています。ご協力を賜ります医療従事者の皆様に対しまして、感謝を申し上げますとともに、市民の皆様には、引き続き、冷静な行動をお願いいたします。

なお、新型コロナワクチンは接種をして免疫がつくまでに1～2週間程度かかり、免疫がついても発症予防効果は100%でないため、2回接種した後でも感染する事例も出ており、接種後もマスク着用をはじめとした対策を引き続き、お願いいたします。

令和3年8月4日
鳴門市長 泉理彦